

第1回まちづくり推進部会 主なご意見等

開催日時：平成29年6月5日（月）10:00～12:00

開催場所：大宮区役所 大会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	東京大学 大学院工学系研究科 窪田 亜矢 教授
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 事務局長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	さいたま市 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長 （代理）
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	都市再生機構(東日本都市再生本部 事業企画部) 事業企画第2課長

■両部会の検討項目と検討スケジュールについて

- ・特になし

■基盤整備推進部会の検討状況について

【⇒事務局からの回答】

- ・検討の中で駐輪場についても配慮すべきではないか。
- ⇒基盤整備推進部会においても同様のご意見を頂いており、今後検討を進めていきたい。
- ・バスの配置計画について、再開発ビルとうまく繋がるようなデザインを考える必要がある。
- ⇒現在、基盤整備推進部会での議論も踏まえ検討しているところであり、今後調整を図っていききたい。
- ・新たな東西通路と中央コンコースとの関連性や北口改札の設置をどのように考えているのか。
- ⇒現在、鉄道事業者と東西通路の位置等について協議しているところであり、中央コンコースとの関連等についても今後調整していききたい。
- ・回遊性とは地上レベルの話で、デッキは設置しないのか。
- ⇒JR改札は2階レベルであり、部会での議論を踏まえデッキの設置も検討していく。
- ・駅前の狭い空間に全ての機能を押し込むのか。駅前だけではなく、大門2丁目や区役所跡地も含め、広い範囲でまちづくりを考えなければならない。
- ⇒駅前に全ての機能を全て押し込めるとは考えておらず、広い範囲で検討していく。
- ・自宅から駅までの間に何が起こるのか、歩行者・車・自転車など、使い手のストーリーを考える必要がある。

■都市機能について

【⇒事務局からの回答】

- ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想の最終的な成果は何か。
- ⇒都市機能や歩行者ネットワーク、駅前空間などについて、基盤整備推進部会とまちづくり推進部会での議論を経て、最終的に両部会の考えと整合するイメージ図などもご提示したいと考えている。
- ・歩行者ネットワークとは、街区の中に特化した話なのか。景観ガイドラインなどの話なのか。また、それについて今年度議論していくのか。
- ⇒歩行者ネットワークとは、まち全体における歩行空間の検討であり、氷川神社や氷川参道などを見据えた中で、将来的には景観に関するガイドラインも必要と考えている。詳細は、次年度以降の課題としてまとめることを考えている。
- ・全ての機能を駅前に導入するのではなく、駅前から外へ広げ、まちとつながるように整理してほしい。JRの線路上をうまく利用し、路線バスやタクシーをそちらに持つていくことも考えられる。

- ⇒線路上空の活用については、JR 所有の土地であることと、想定している建設コストや時間が多くかかるため、どのようなものが適切か、今後 JR とも協議していきたい。
- ・議論にあたって、「駅→中山道→産業道路→さいたま新都心」と広い範囲を意識すべきである。
 - ・我々はまちの代表で来ているが、地権者全員の意見を吸い上げてきているわけではない。一部で決めて持ち帰っても、反対が起きる可能性はあり得る。
 - ・エリアマネジメントのようなガイドラインを作成して、協調してまちをつくることが重要である。各地区で個別に議論する中で、エリアとしての魅力を高める話もして頂きたい。
 - ・各地区の果たす役割がはっきりすれば、「我が地区はこう進む」という意思が明確になり、再開発に向けた準備を進めることが出来る。
 - ・本日提示されている事例は、都市再生特別地区を活用したものであり、本計画も都市再生特別地区ありきで考えて良いのか。
- ⇒まずは、どのようなまちにするか議論して頂き、そのまちを目指すために都市再生特別地区などの都市計画制度を使わなければいけない、という順で検討を進めていきたい。
- ・本日の部会では、1 階レベルの回遊性、自由通路とのつなぎ方などの空間像についてのお話が出てきた。デッキの高さ、ボリュームとの関係性でいくつかのシナリオが作れるかと思う。次回までにイメージ案等の検討に必要な材料を作成してもらい、それをもとに思い描いているまちについて議論ができれば良いと思う。

以上